

大河原地域における高校のあり方検討会議について

1 目的

今後の南部地区において想定される生徒数の減少等を踏まえ、大河原町内にある2つの専門高校（柴田農林高校・大河原商業高校）を再編し、新たな職業教育拠点校を設置するにあたり、地域のニーズを踏まえた魅力ある高校づくりを推進するため、本県としては初めて「大河原地域における高校のあり方検討会議」を開催し、地域の方々から様々な意見を伺い、具体的な再編案を共に検討していくもの。

2 南部地区の現状・課題及びニーズ

< 現状・課題 >

- ・多様な産業（農林畜産業や製造業、観光関連産業）が展開されている一方で、人口減少や少子高齢化の進行により、地域産業の担い手不足が懸念されている。
- ・将来的な生徒数の減少による学級規模の縮小が避けられない状況である。

< ニーズ >

- ・地方創生の戦略として「地域産業の競争力強化」が挙げられており、6次産業化や農商工連携による農産物のブランド化、新商品開発等の推進が求められている。
- ・多様化する産業構造において、従来の農業及び商業の専門的な知識や技能に加え、これからの地域産業を担う新しい専門分野の知識・技能を備えた人材の育成が求められている。

3 南部地区の再編案

大河原町内にある2つの専門高校を再編し、これまでの農業・商業のほか、地域のニーズを踏まえた新たな学科を加え、地域産業を担う人材を育成する拠点校を新設する。

新たな『職業教育拠点校』 (H34.4開校を目指す)

農業(柴田農林高校)

商業(大河原商業高校)

新しい学科

～ 地域とともに歩み、地域に支えられ、地域を創る高校 ～

- 開校時期 : 平成34年4月(予定)
- 設置場所 : 柴田農林高校敷地内に新校舎を設置予定

4 会議の開催概要（※別紙要綱のとおり）

（1）会議の構成員

- ・大河原町長，大河原町教育委員会教育長
- ・両校関係者（校長，P T A会長，同窓会長）
- ・地元中学校関係者，町商工会長，地区P T A会長 等

（2）協議内容

- ・今後の農業教育及び商業教育のあり方について
- ・新しい学科のあり方について
- ・新たな学校に期待すること等について
- ・魅力ある学校づくりに向けた地域との連携・協力のあり方について 等

5 今後のスケジュール（案）

平成 28 年 3 月 17 日	第 1 回会議開催
平成 28 年 5 月下旬	第 2 回会議開催
平成 28 年 6 月中旬	第 3 回（学校視察）
平成 28 年 7 月上旬	第 4 回会議開催（中間案）
平成 28 年 9 月下旬	第 5 回会議開催（まとめ）
平成 28 年度末まで	上記会議での議論を踏まえ，新県立高校将来構想第 3 次実施計画を 決定・公表